

Q レシービングラインとは何ですか。

A 【ワンポイント・アドバイス】

公的なパーティーにおいて、主催者（と主賓）がパーティー会場の入り口付近で一列に並んで招待客を迎える立礼のことを、レシービングラインと呼びます。招待客が多い場合、レシービングラインでの挨拶に時間がかかりすぎることがありますので、主催者も招待客もレシービングラインでは挨拶を手短に切り上げるよう配慮します。



【解説】

1. 公的なパーティーで、主催者（と主賓）が一列に並んで招待客を迎える立礼をレシービングラインと呼びます。レシービングラインに並ぶ順番は、夫妻単位のパーティーでは、1 主催者、2 主賓、3 主賓配偶者、4 主催者配偶者の順番となります。また単身単位のパーティでは、1 主催者、2 主賓とするか、または、1 主催者代表、2 主催者副代表のような順番で並ぶのが原則です。
2. 招待客が多い場合、レシービングラインでの挨拶には一定の時間がかかりますので、主催者も招待客も挨拶を手短に切り上げるよう配慮します。レシービングラインにかかる時間は、最大でも30分程度が適当とされていますので、公式なパーティーでも、行事時間を短縮するためにレシービングラインを設けない場合も増えてきました。
3. レシービングラインでは、招待客が通常自己紹介をしますが、高位高官が

主催する場合など、極めて正式なパーティーでは、侍立者が招待客を紹介する方法があります。具体的には、まず受付等で招待者が紹介用の名札を受け取り、その後レシービングライン手前に立っている侍立者が招待客から名札を受け取って、ラインに並んでいる主催者や主賓に向かって、“Minister of Foreign Affairs and Mrs. XXX（外務大臣およびXXX夫人）”のように、招待客の名前を呼びあげる方法です。